

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	雨水施設整備事業						継続					
コード	80	-	23	-	02	-	00	予算事業名	雨水施設整備事業			
担当部署	事業推進部		下水工務課		雨水整備担当		予算事業コード	会計	款	項	目	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	下水道法、下水道法施行令
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	実施計画
施策	1	治水事業の推進		
細施策	2	雨水整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	浸水被害の発生している市民を対象に、浸水被害の軽減を図るために実施する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	実施計画に基づいた地域・地区について、業務委託などにより民間の効率的なアイデアによる施工方法を検討し、管渠・貯留施設・ポンプ施設等の整備を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		635,607	543,662	469,367	354,138	226,580	
事業費	A	625,851	440,517	397,937	353,650	226,580	336,348
	B	29,600	29,600	29,600	29,600	29,600	29,600
総コスト(C=A+B)		655,451	470,117	427,537	383,250	256,180	365,948
正規職員(1年間の従事人数)		4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	76,000	36,000	34,910	29,485	35,000	25,000
その他特定財源	E	290,000	292,600	82,900	197,900	72,100	217,900
市の財政負担(=C-D-E)		289,451	141,517	309,727	155,865	149,080	123,048

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	雨水管渠整備延長/面積/全体整備率	m/ha/%	828/1.42/33.9	147/0.33/33.9	276/0.09/33.9	419/0.11/33.9	1年間の管渠整備延長/面積/全体整備率
成果	雨水ポンプの排水量	m <sup>3</sup> /s	-	1.0	0.1	-	1年間に設置した雨水ポンプ総排水量
成果	雨水調整池貯留量	m <sup>3</sup>	1,107.0	1,000.0	2,500.0	2,750.0	1年間に整備した総貯留量
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		予算は、減少しているものの、整備は進んでいる。財政の硬直化が進む中において整備費の縮減は不可避であり、今後、更に効率的な整備を図っていく必要がある。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
近年、異常気象によるゲリラ豪雨が頻繁に発生し、更に都市化による田・畑等が造成されることにより、雨水施設整備の必要性が高まっている。また、設置用地が少なく、地下埋設物の移設等が必要になり工事費が、増大している。しかし、財政的には、非常に厳しい状況にある。今後、民間への設計委託等により、民間活力を活用した事業の効率化を、図る必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
限られた予算ではあるが着実に整備は、進んでいる。川越市の平成23年度末下水道雨水整備率は33.9%です。近隣中核7市の整備率は、34.8%であり概ね同じ状況です。また、県内の平均整備率は25%です。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
公共下水道は、下水道法で、市町村が行うものとなっている。市総合計画にも雨水整備の促進が、明記されている。また、近年の都市型集中豪雨等の影響により浸水被害が多発する傾向にある。そのような状況にもかかわらず事業を廃止・縮小した場合、浸水被害が解消されず市民に対する行政サービスの低下になる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
認可区域内の浸水常習地域ついて、雨水施設整備を積極的に実施して行きたい。	